

編集後記

平成16年4月に発足した技術センターも4年目となり、過渡期に入りました。全学的な支援ニーズに応えるため、技術員各々の仕事だけでなく、技術センターの運営にも変化が訪れています。そういった中、平成18年度報告集編集委員会で報告集第3号の編集を行ってまいりましたが、技術員各々が今までの仕事に加え、新たな試みを始めているということを実感しました。技術センターがイニシアチブを取った、学内だけでなく学外向けの講習会やイベントが増えてきたのも、その変化の一部だと思います。与えられた仕事をこなしていくだけではなく、自分達のシーズを全学的に示していく姿勢が重要となってきたと感じました。技術センターには多分野にわたり様々なシーズを持った人間が集まっております。まだまだ様々なことを行っていけるだけの潜在力を有していると思います。本報告集などもその実施についての報告を掲載し、技術センターの潜在力を多くの方に示せるものになっていけばと期待しています。

最後に、私のような若輩者が編集委員長を務めさせていただいたにも関わらず、本報告集の編集を無事終えることができましたのは皆様のご協力のお蔭と考えております。本報告集の発行に際し、ご助言・ご協力をいただきました藤久保昌彦技術センター長、岩谷秀秋技術統括、平成16・17年度報告集編集委員会委員長、同副委員長に厚くお礼申し上げます。また、学術部学術推進グループ、技術センター職員の皆様、投稿者の皆様のご協力に深く感謝いたします。

委員長 木庭 亮二

平成18年度技術センター報告集編集委員会

委員長	木庭 亮二	(理学部等部門)
副委員長	柿村 順一	(医学部等部門)
副委員長	寺元 浩昭	(理学部等部門)
	中谷 宣弘	(医学部等部門)
	坂下 英樹	(工学部等部門)
	土橋 誠	(工学部等部門)
	木原 真司	(生物圏科学研究科部門)
	笹谷 晋吾	(原爆放射線医科学研究所部門)